個人投資家様向け会社説明会

日本ピラー工業株式会社
（証券コード：6490）

2022年3月7日

PILLAR

１．日本ピラーってどんな会社？

２．直近の決算概要

会社概要（2021年3月期）

【当社WEBサイト】
数字で見る
日本ピラー工業

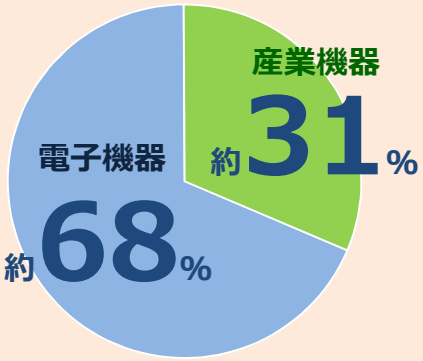
連結売上高

302億円

連結営業利益率

16.0%

セグメント比率



2024年で創業

100年

ピラー継手のシェア

世界 NO.1

（半導体洗浄装置向け）

連結従業員数

759人

社是・経営理念

【当社WEBサイト】
私たちの理念

社是

品　質　第　一
和　衷　協　力
一　歩　研　究

経営理念

1. 住みよい地球と豊かな社会環境づくりに貢献します。

2. 独創的で高品質な製品を提供し、
お客様にとってかけがえのない企業を目指します。

3. 法令・社会規範を遵守し、公正で健全な企業活動を行います。

社名の由来

- 1924年 船舶エンジンの蒸気漏れを防ぐ「ピラーパッキンNo.1」を開発
- 形状が柱状(=PILLAR)であった事から日本ピラー工業と命名

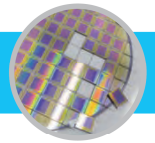
沿革

【当社WEBサイト】
沿革

1920
おもなニーズ：船舶

1940
おもなニーズ：エネルギー

1980
おもなニーズ：自動車



2000
おもなニーズ：半導体

時代のニーズとともに取り組んできた歩み

創業～生産体制の確立

1924
岩波嘉重が船舶用レシプロエンジンのシリンダーグランド用として合金製ピラーパッキンを考案し「日本ピラー工業所」を設立

創業者
岩波嘉重

1926
大阪市淀川区に工場を新設、工業用漏れ止めパッキンの本格的生産を開始

1932
自動車用及び船舶内燃機用のガスケットの生産を開始

技術開発の躍進

1948
株式会社に改組し、「日本ピラー工業株式会社」を設立、資本金200万円
東京出張所（現東京支店）を開設

1951
わが国で最初にメカニカルシール（軸封装置）を開発し、生産を開始

1952
高温・高圧管フランジ用バーチカルガスケットを開発
ふっ素樹脂製品（商品名「ピラフロン」）の生産を開始

1967
兵庫県三田市に三田工場が竣工

1969
JIS・B・2404配管用うず巻形ガスケットの業界初のJIS認定工場になる

1970
新素材「炭化繊維」を開発し、生産を開始

1974
創業50周年

ブランド確立、世界進出へ

1980
本社社屋を新築竣工
当社初の海外合弁会社 Korea Pillar Packing Co.,Ltdを設立

1981
ISOシリーズ メカニカルシールの生産を開始

1984
大阪証券取引所市場第二部特別指定銘柄（新二部）に株式上場
半導体製造装置向けふっ素樹脂製品の開発に着手し、初めて継手（ピラーフィッティング）を発売

1987
膨張黒鉛編組パッキン「ピラーマークⅢ」を開発、生産を開始

1989
京都府福知山市に福知山工場が竣工

1993
東南アジアへの販売拠点としてNippon Pillar Singapore Pte Ltd.を設立

1994
米国CAA（大気浄化法）対応の新パッキンEDP※の本格納入を開始

1995
「ISO9001」認証を取得
大阪証券取引所市場第二部に指定替え

1999
米国にNIPPON PILLAR CORPORATION OF AMERICAを設立
「ISO14001」認証を取得

※Emission Defence Packingの略。パッキン内部の浸透漏洩にまで対策を施した低漏洩・高性能パッキンのこと

グローバル化の深耕、新事業の創出

2001
東京証券取引所及び大阪証券取引所市場第一部に上場
台湾にTaiwan Pillar Industry Co.,Ltdを設立

2002
世界初の画期的なシール機構を実現した「スーパー300タイプピラーフィッティング」の生産を開始

2003
ノンアスベスト化への早期切り替えに寄与する「#2603-EEEテクノブラック」の生産を開始
中華人民共和国にSuzhou Pillar Industry Co,Ltdを設立

2005
熊本県合志市に九州工場が竣工

2007
中華人民共和国にShanghai Pillar Trading Co., Ltd.を設立

2012
半導体市場向け新型ロータリージョイントの生産を開始

2015
アラブ首長国連邦にNippon Pillar Middle East FZCOを設立
タイ王国にNippon Pillar (Thailand) CO.,Ltd.を設立

2016
メキシコ合衆国にNPK Fluid Control Systems Mexico S.A. de C.V.を設立

2017
大阪市西区に本社を移転

2018
ドイツ連邦共和国にNippon Pillar Europe GmbHを設立

2019
インドネシア共和国にPT. Nippon Pillar Manufacturing IndonesiaとPT. Nippon Pillar Indonesiaを設立

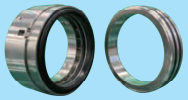
2020
新・三田工場竣工
中華人民共和国にPillar Technology (Chuzhou) Co., Ltd.を設立

2021
Pillar Technology (Chuzhou) Co.,Ltd.稼働開始

創出してきた価値・製品

特許製品ピラー#1
パッキン

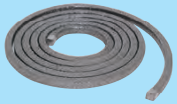
自動車用ガスケット



日本初の
メカニカルシール

撹拌機用
メカニカルシール

初の半導体継手
ピラーフィッティング

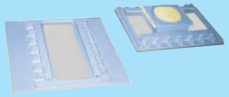


膨張黒鉛編組パッキン
ピラーマークⅢ

ピラースペラ300
低脈圧ベローズポンプ

スーパー300タイプ
ピラーフィッティング

ピラーEDP®パッキン



ピラーユニトン支承

流体とは

流体

- 気体　ガス・水蒸気など
- 液体　水・油・薬液など
- 粉体　小麦粉・砂糖など

流体制御：流体の漏れを防止する
流路をコントロールする

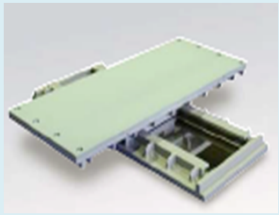
事業セグメント

【当社WEBサイト】
事業内容

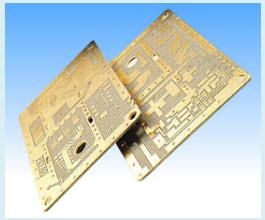
電子機器関連事業

フィッティング

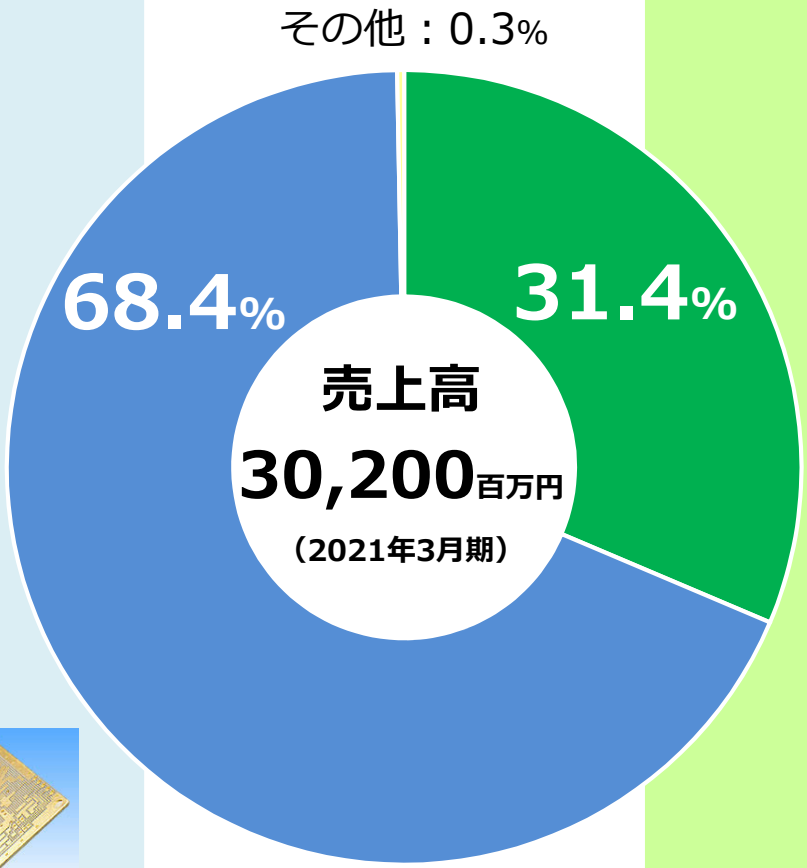
ベローズポンプ



ユニトン支承



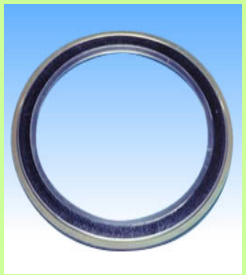
ふっ素樹脂基板



産業機器関連事業

メカニカルシール

グランドパッキン

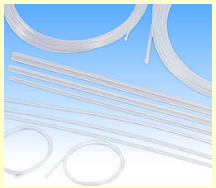


ガスケット

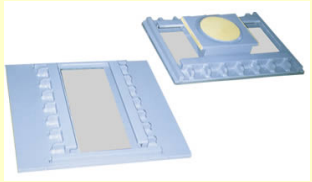
電子機器関連事業(ふっ素樹脂関連製品)と主な納入先

ピラフロン

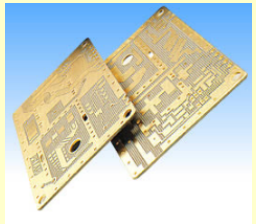
半導体・液晶分野



建築分野



通信分野



主要納入機器

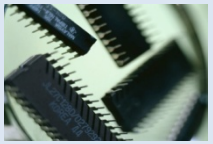
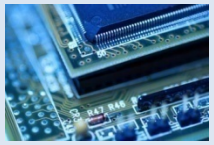
洗浄装置

塗布・現像装置

薬液供給装置

CMP装置

主要納入業界



半導体

液晶

主要納入先

ビル

連絡橋

渡り廊下

主要納入先

自動車

データセンター

電子機器関連事業　(ふっ素樹脂の特性)

純粋性

耐熱性・耐寒性

耐薬品性

低摩擦性

蛍石

ふっ素樹脂

非粘着性

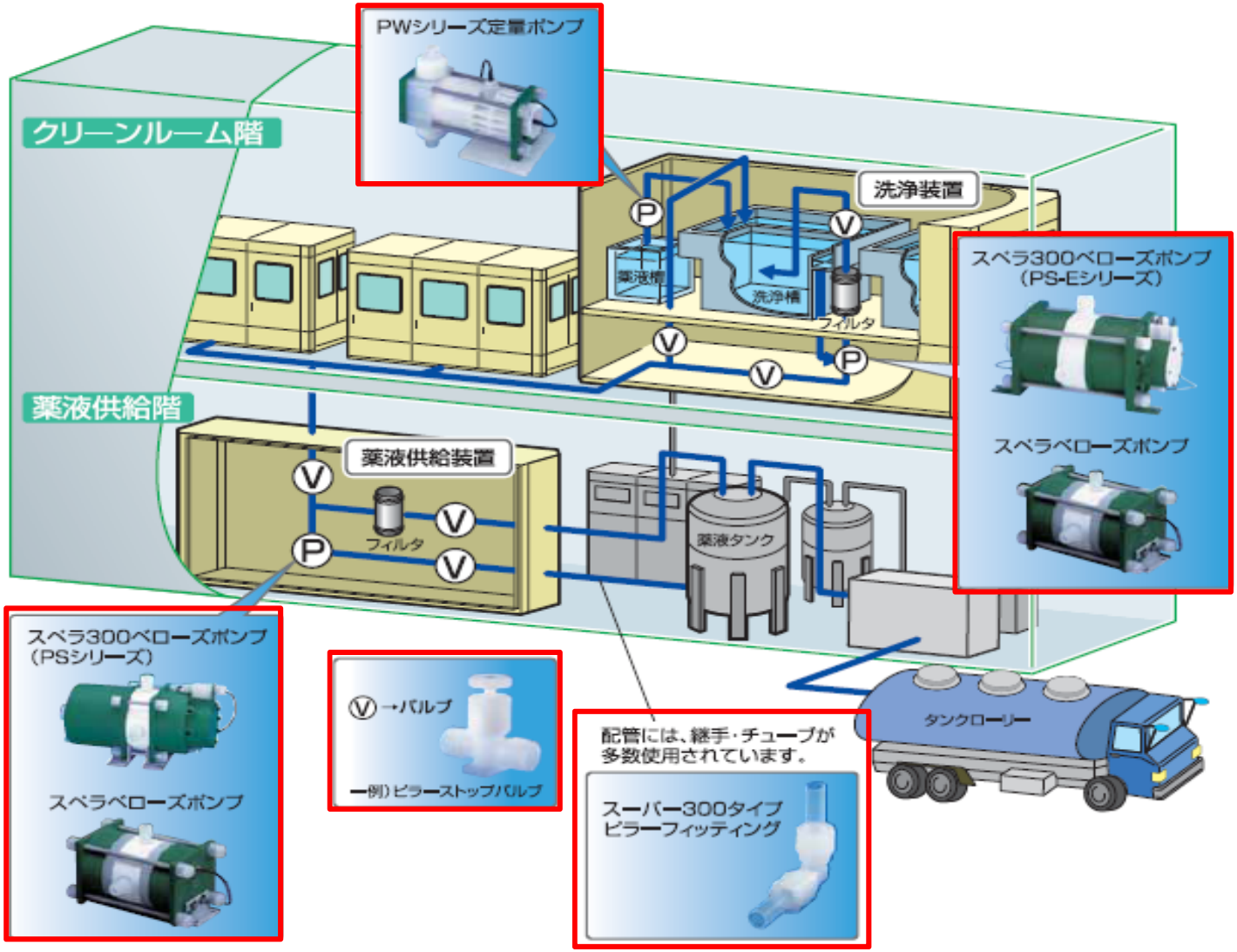
難燃性

電気的特性

対候性

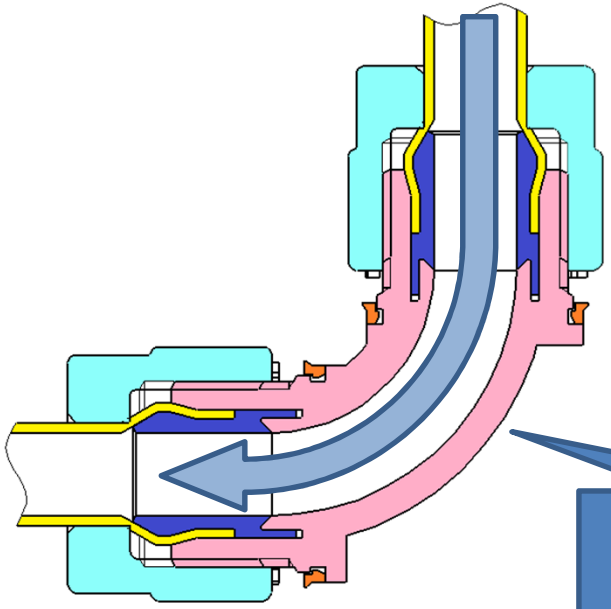
電子機器関連事業　(継手・チューブ・ポンプ)

半導体・液晶分野での使用例

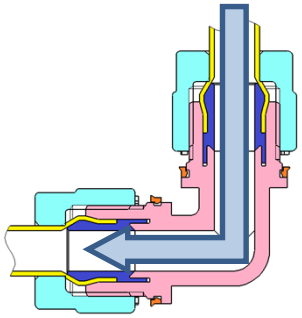


電子機器関連事業　(TOPICS)

半導体製造装置向け新製品「SWEEP ELBOW（ｽｲｰﾌﾟｴﾙﾎﾞ）」



【新商品】スイープエルボ断面



【従来品】ユニオンエルボ断面

R型流路設計により
スムースな流れを実現

＜特徴＞
・R型流路設計により圧力損失を約60～70%も低減
・流量最大20%アップ・マイクロバブル低減など生産性向上に寄与
・配管抵抗低減による省エネルギーにも貢献

電子機器関連事業（免震装置・ユニトン支承）

建築分野での使用例

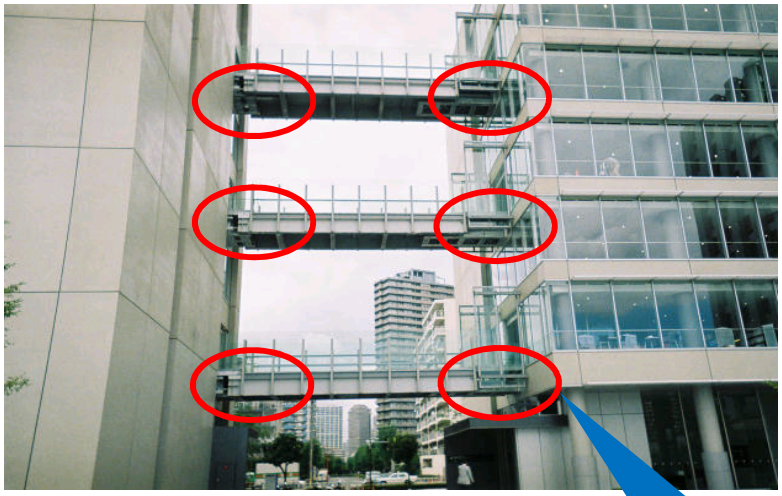
ふっ素樹脂の低摩擦性を活用し、
建築物や構造物の支持部に加わる力を
回転・すべり機構によって軽減・吸収
あべのハルカスなどの大規模施設にも
使用されています

大屋根

連絡橋

半導体工場

【採用事例】
学校法人芝浦工業大学　豊洲キャンパス

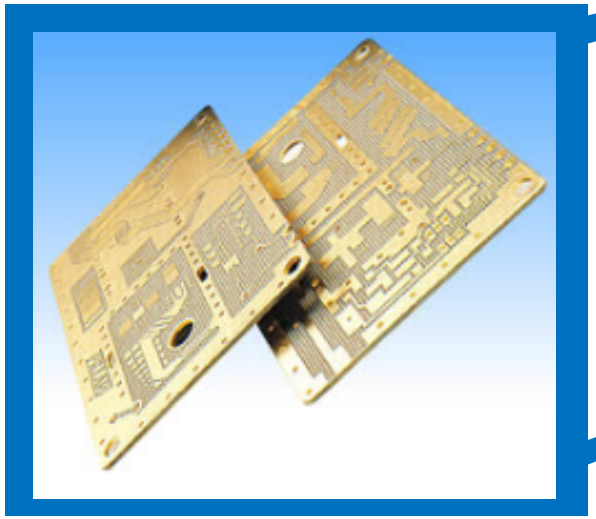


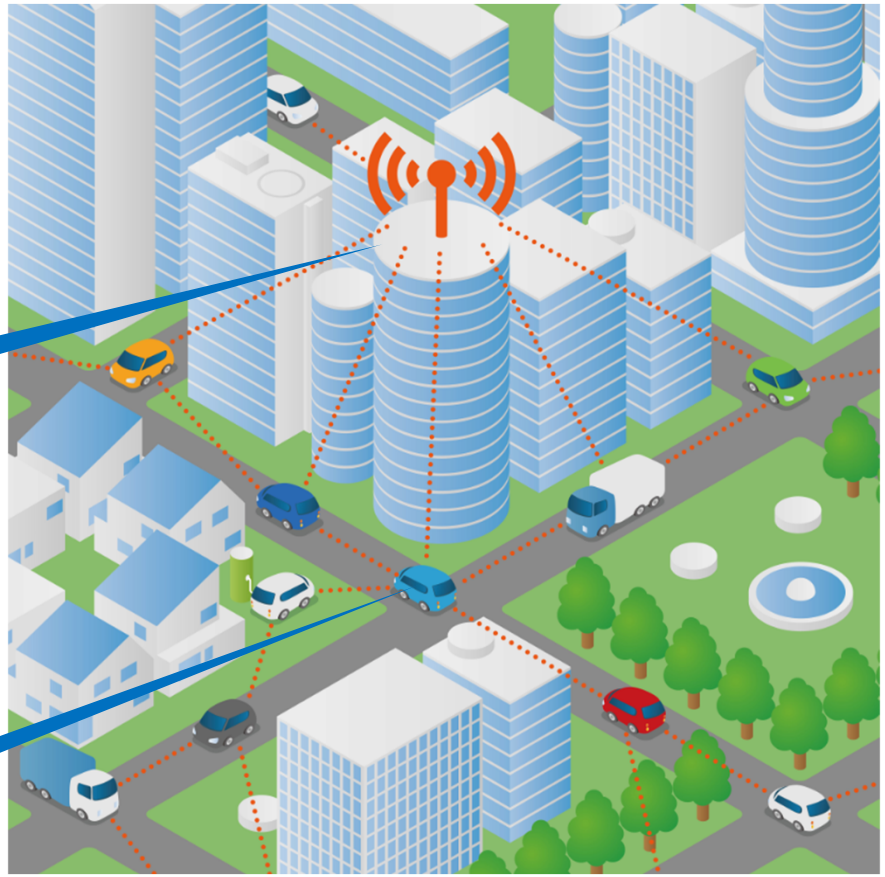
電子機器関連事業　(アンテナ基板)

新事業へのアプローチ

ミリ波アンテナ用基板の開発

ふっ素樹脂特有の高周波特性を活かし、
低損失なアンテナ基板を開発

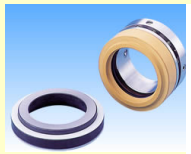
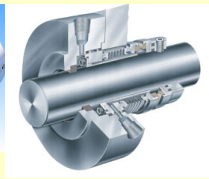




→ 5G時代の到来に向け、基地局や車載向け
アンテナ基板への新規参入を目指す

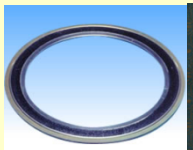
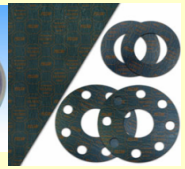
産業機器関連事業(シール関連製品)と主な納入先

メカニカルシール

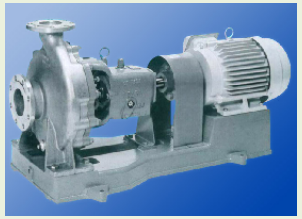



グランドパッキン

ガスケット

主要納入機器



ポンプ

バルブ

攪拌機

自動車

主要納入業界

電力

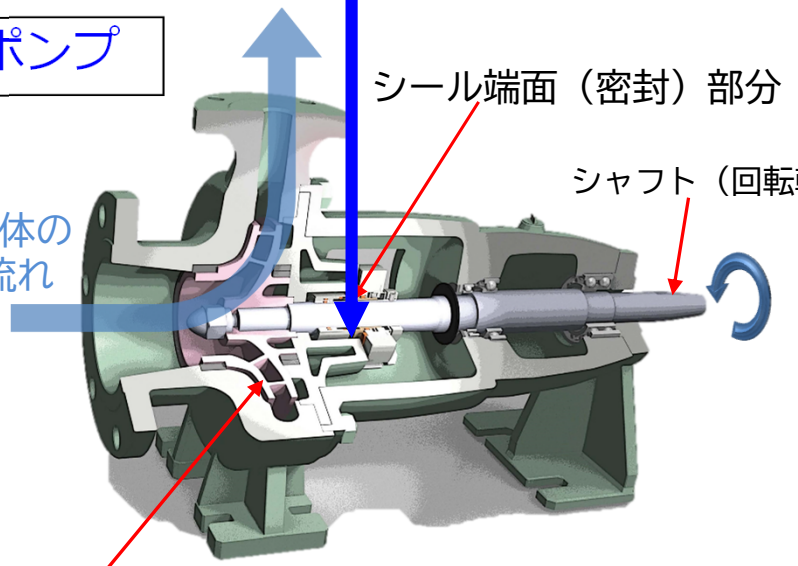
化学プラント

社会インフラ

産業機器関連事業(シール製品)

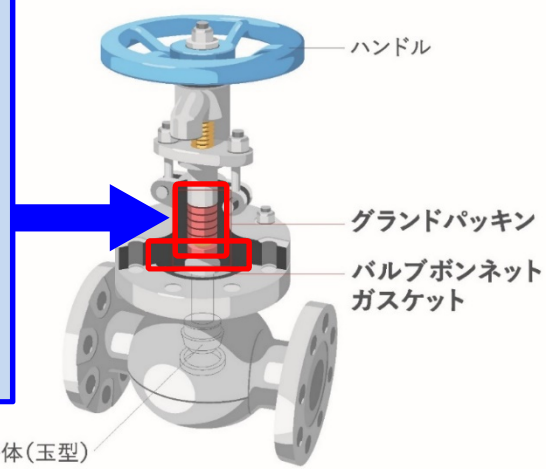
メカニカルシール

ポンプ

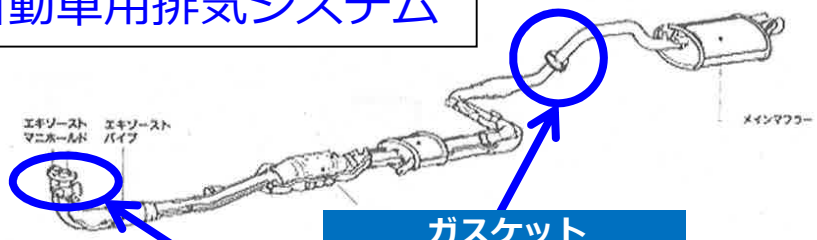


グランドパッキン

バルブ



自動車用排気システム



ガスケット

ピラーネットワーク

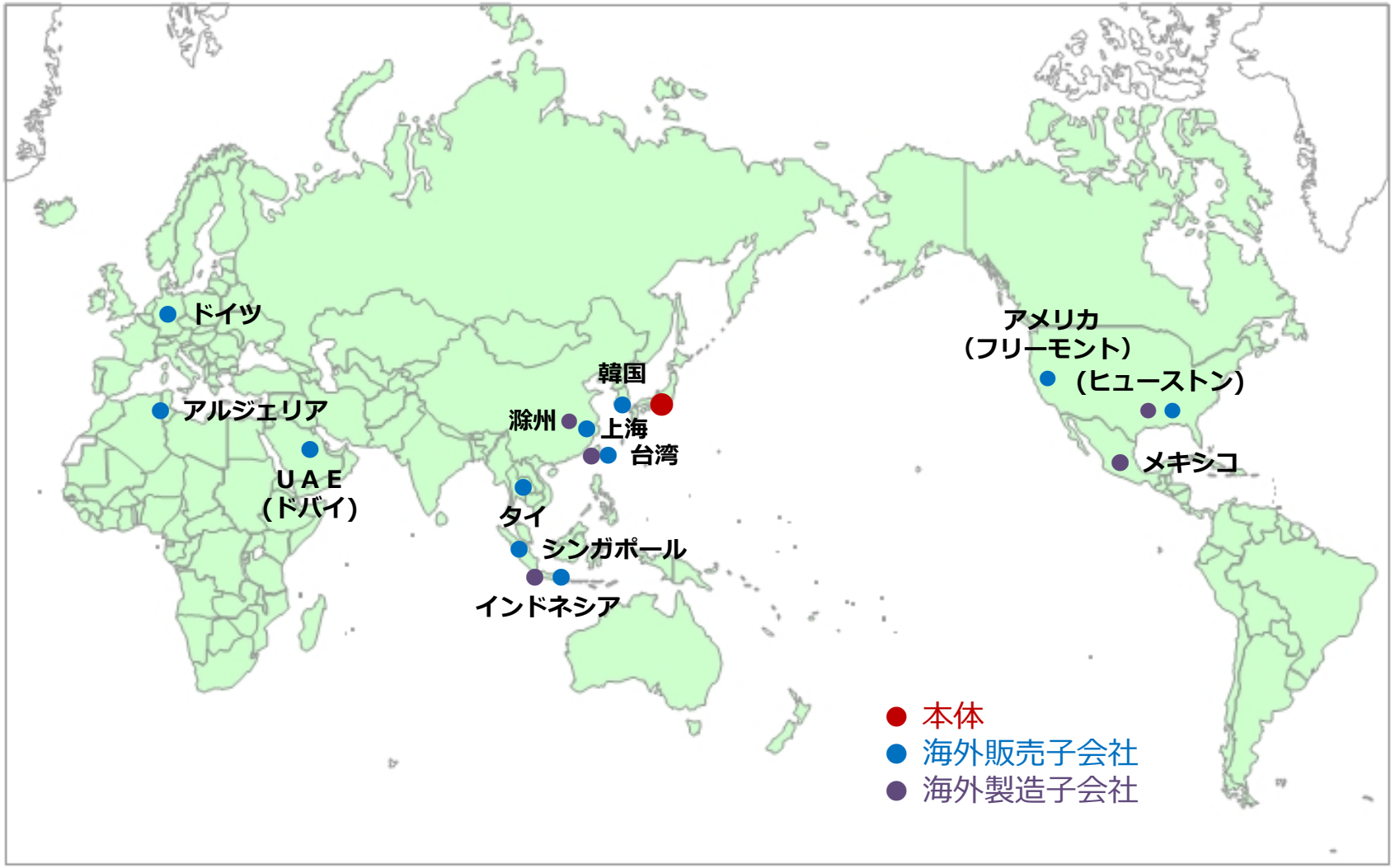
【当社WEBサイト】
グループネットワーク
（国内事業所）

国内拠点

ピラーネットワーク

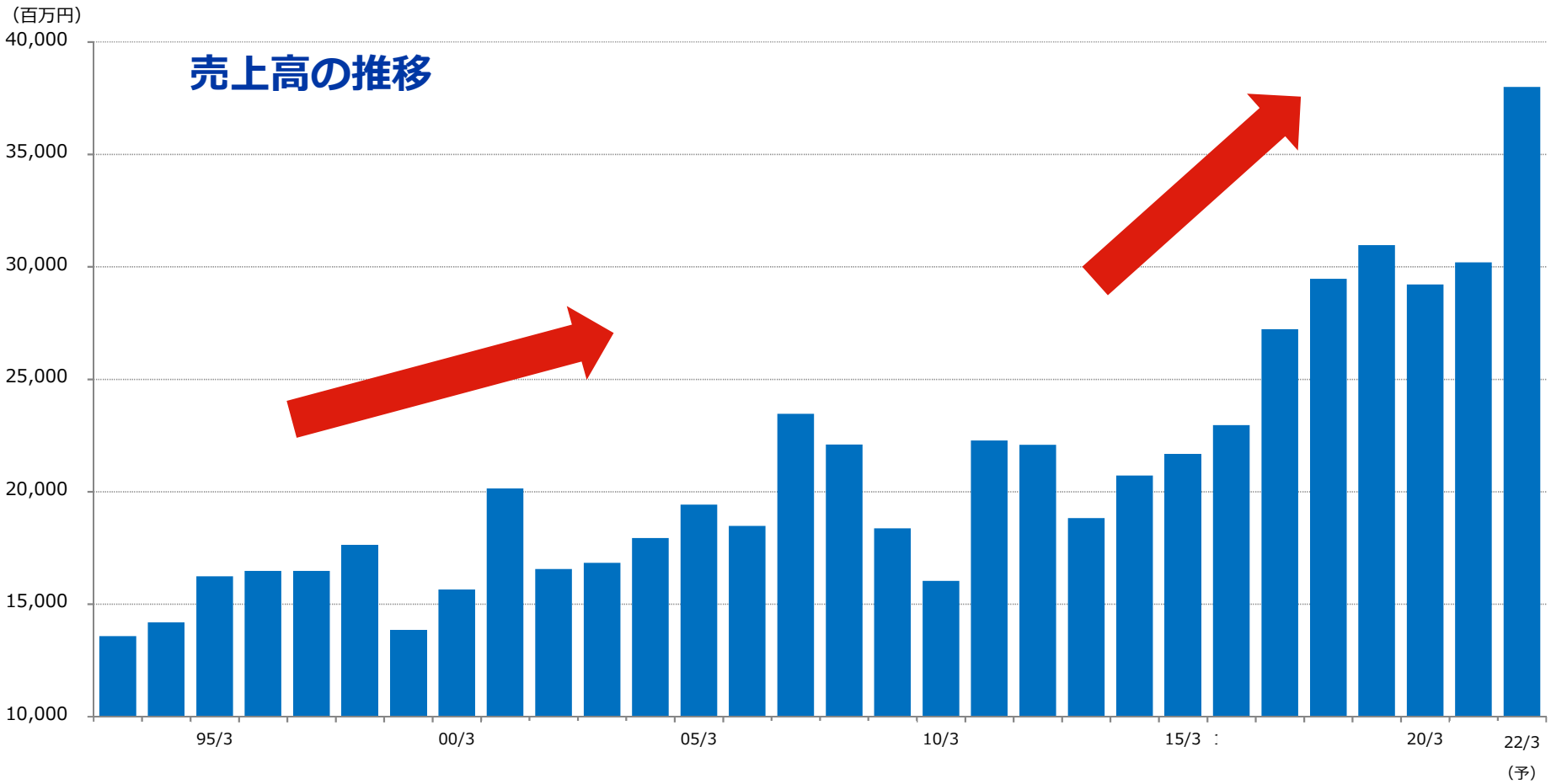
【当社WEBサイト】
グループネットワーク
（海外事業所）

海外拠点



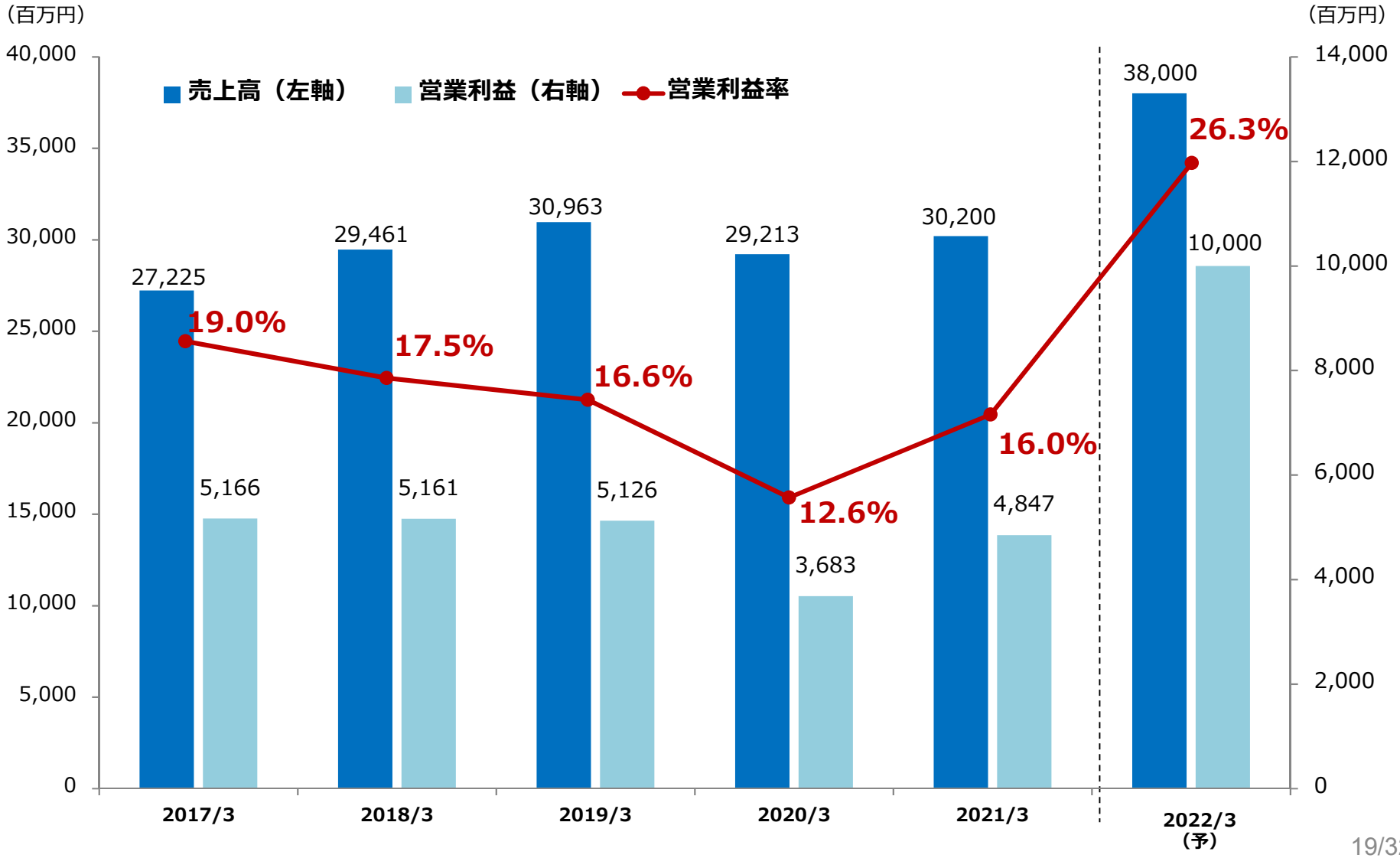
当社の売上高推移

過去20年以上にわたり安定的に売上を拡大



過去5年の推移

高水準な営業利益率を維持

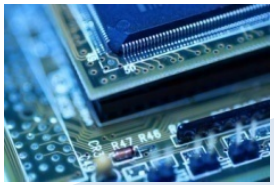


ピラーの強み　素材開発

素材の研究を重ね
様々な市場に展開

ピラーNO.1

- 膨張黒鉛
- 炭化繊維
- PTFE
- PFA
- Si/SiC



半導体

自動車

化学プラント

電力

建築

新規市場への拡大

ESG/SDGs経営

【当社WEBサイト】
ESG/SDGs経営

持続的な企業価値向上の観点からサステナビリティを巡る課題対応に積極的に推進

E	6 安全な水とトイレを世界中に	・当社単体の取水量の開示
	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	・省エネに貢献する製品の開発（スイープエルボ） ・射出成形設備の改善による生産消費エネルギーの削減
	13 気候変動に具体的な対策を	・当社単体のCO2排出量（スコープ1＋スコープ2）の開示 ・気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）に対応中
S	4 質の高い教育をみんなに	・全社員向けSDGs eラーニング研修の実施
	8 働きがいも経済成長も	・コロナワクチンの職域接種を実施（本社・三田・福知山：1,100人） ・ダイバーシティに関するKPIの策定
	12 つくる責任 つかう責任	・社員食堂利用者数や注文傾向データ化によるフードロス削減
G	16 平和と公正をすべての人に	・ESG/SDGs推進委員会の設置（2021年4月～） ・女性取締役（社外）の就任（2021年6月～） ・安全保障貿易管理に関する社内研修の実施

PILLAR

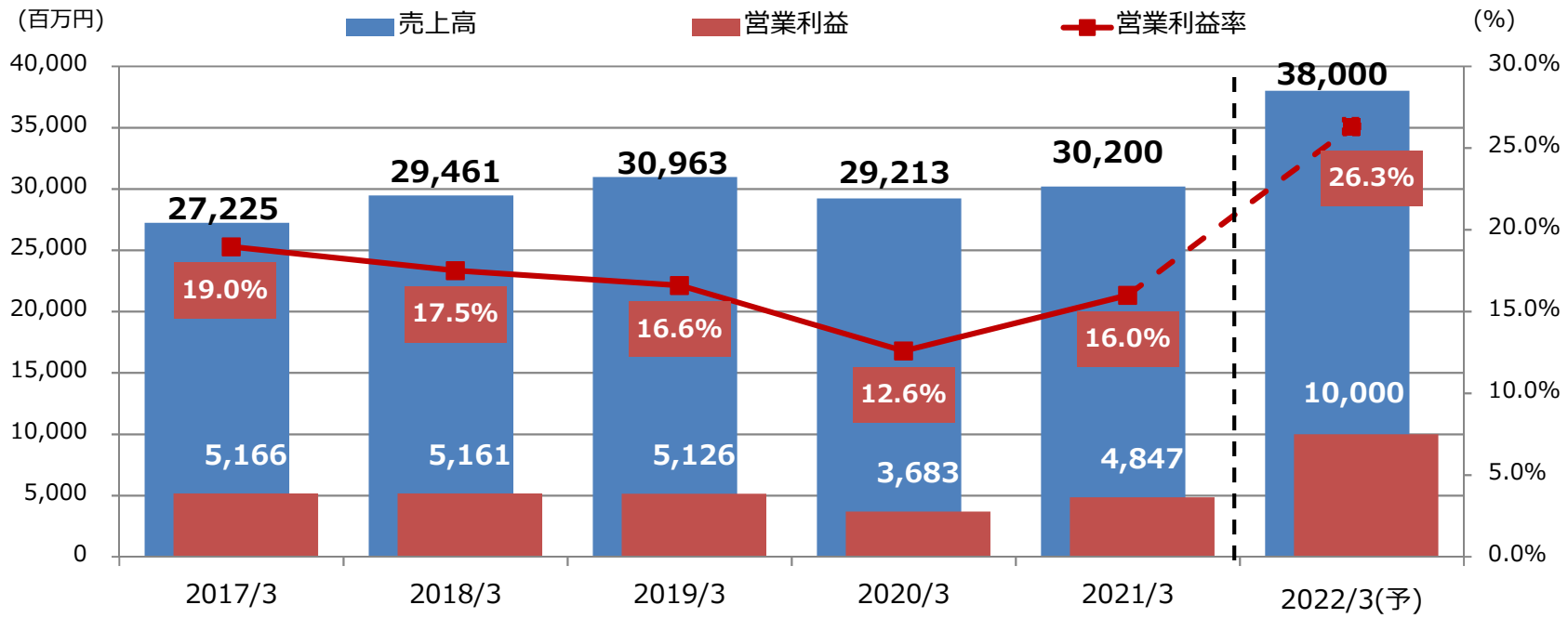
1．日本ピラーってどんな会社？

2．直近の決算概要

直近の決算概要

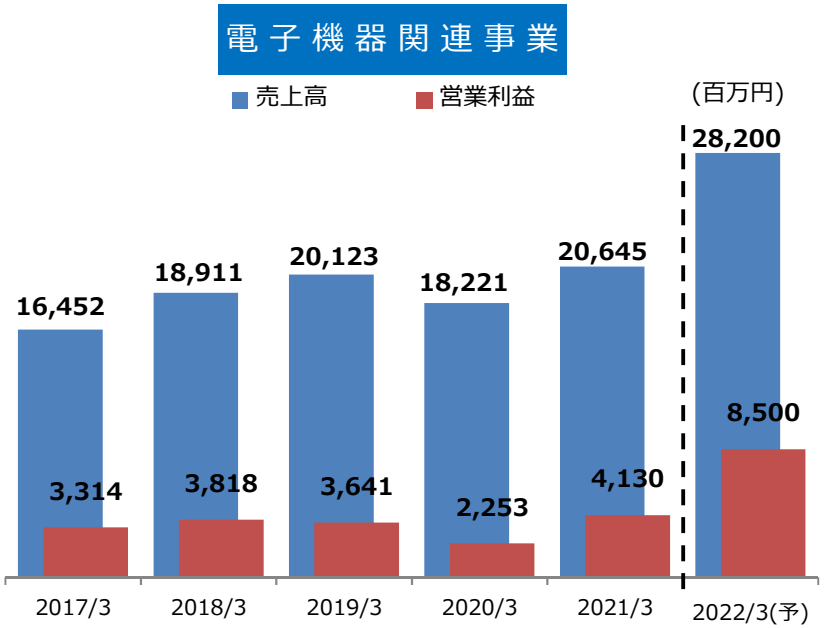
通期計画を上方修正（11月）

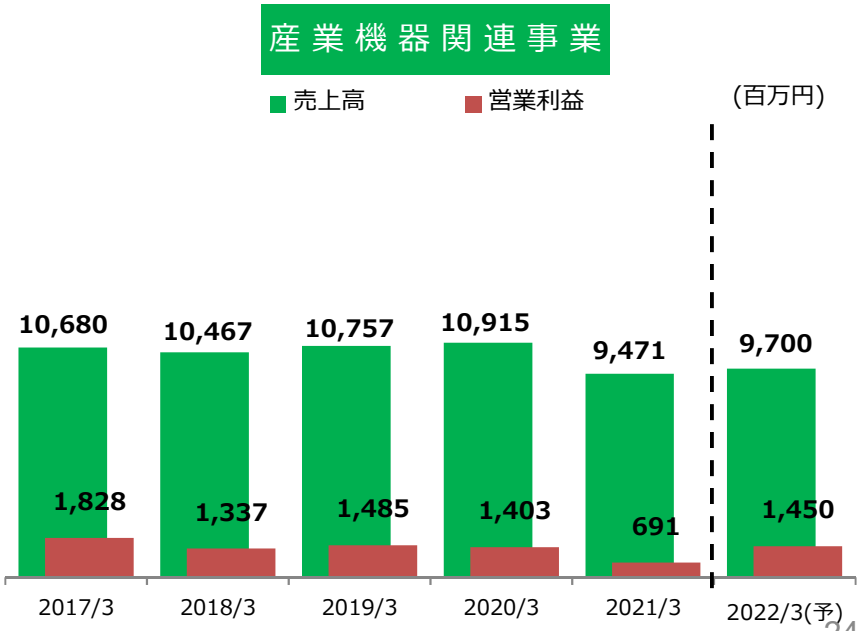
	2021年3月期 3Q	2022年3月期 3Q			2021年3月期	2022年3月期（予）
	実績（百万円）	実績（百万円）	増減	前期比(%)	実績（百万円）	（百万円）
売上高	21,116	**29,676**	+8,560	+40.5	30,200	**38,000**
営業利益	3,060	**8,286**	+5,226	+170.8	4,847	**10,000**
経常利益	3,157	**8,511**	+5,354	+169.6	5,094	**10,000**
当期純利益	2,133	**5,994**	+3,861	+180.9	3,445	**7,000**



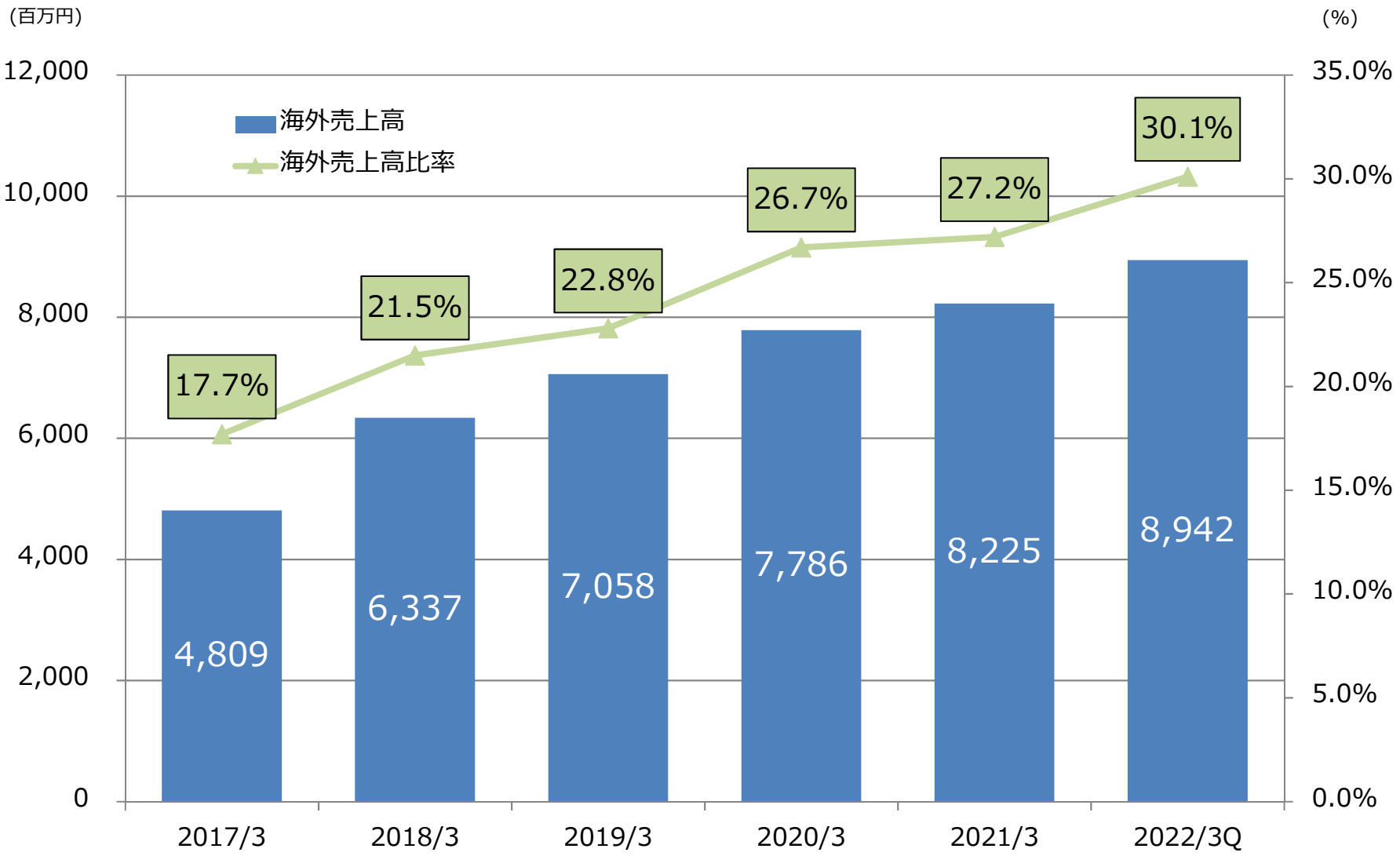
直近の決算概要(セグメント別)

	2021年3月期 3Q	2022年3月期 3Q			2021年3月期	2022年3月期 (予)
	実績（百万円）	実績（百万円）	増減	前期比(%)	実績（百万円）	（百万円）
電子機器関連事業						
売上高	14,122	**22,389**	+8,267	+58.5	20,645	**28,200**
営業利益	2,452	**7,080**	+4,628	+188.6	4,130	**8,500**
産業機器関連事業						
売上高	6,929	**7,198**	+269	+3.9	9,471	**9,700**
営業利益	584	**1,155**	+571	+97.5	691	**1,450**

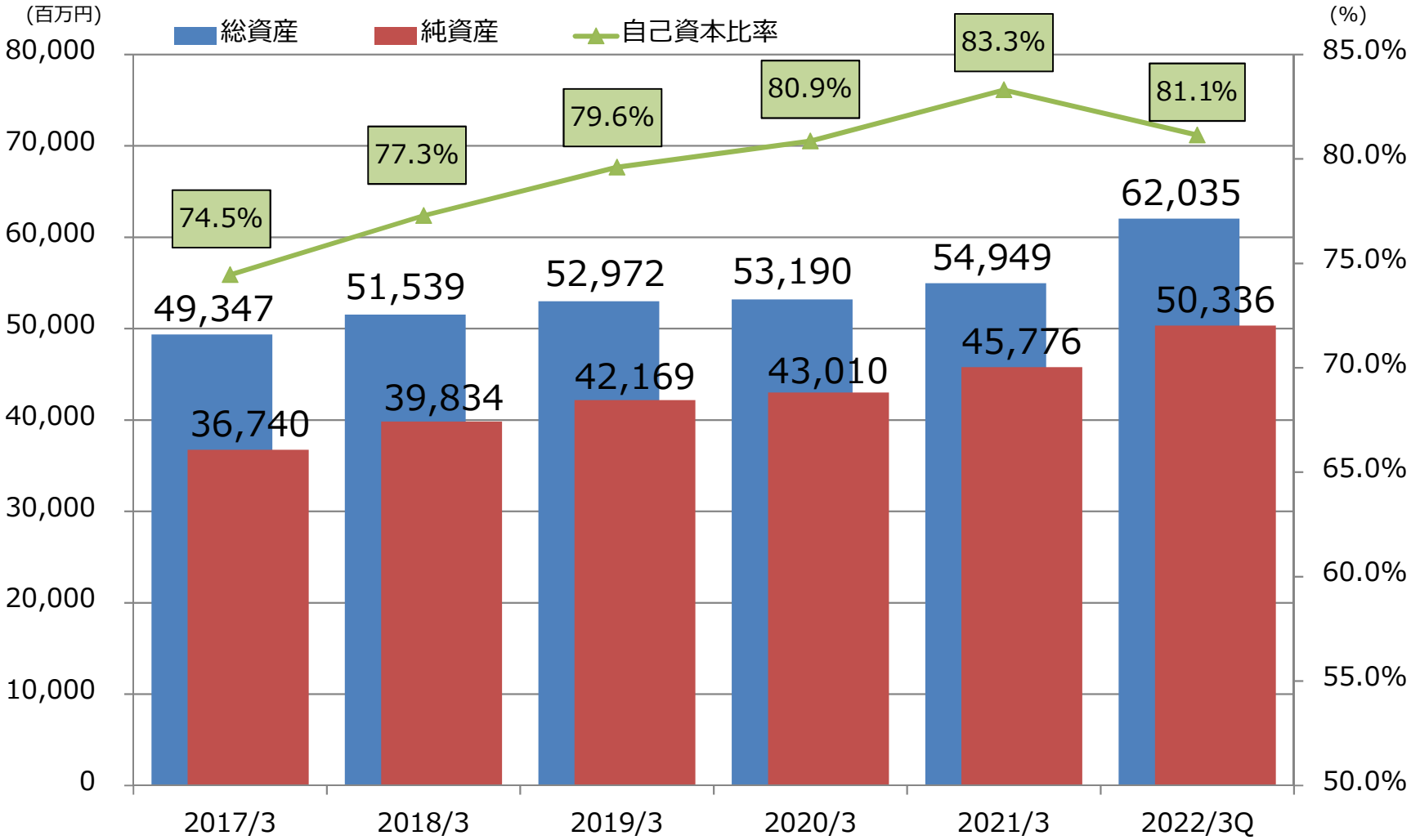




海外売上高実績

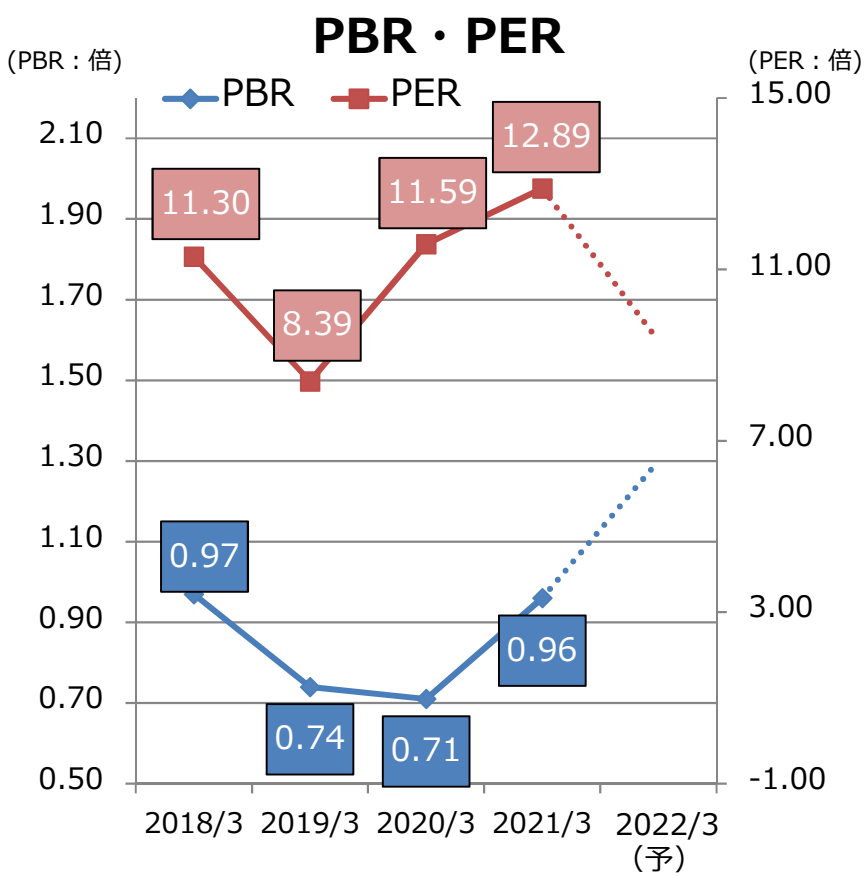

(百万円)
(%)
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
35.0%
30.0%
25.0%
20.0%
15.0%
10.0%
5.0%
0.0%
海外売上高
海外売上高比率
17.7%
21.5%
22.8%
26.7%
27.2%
30.1%
4,809
6,337
7,058
7,786
8,225
8,942
2017/3
2018/3
2019/3
2020/3
2021/3
2022/3Q

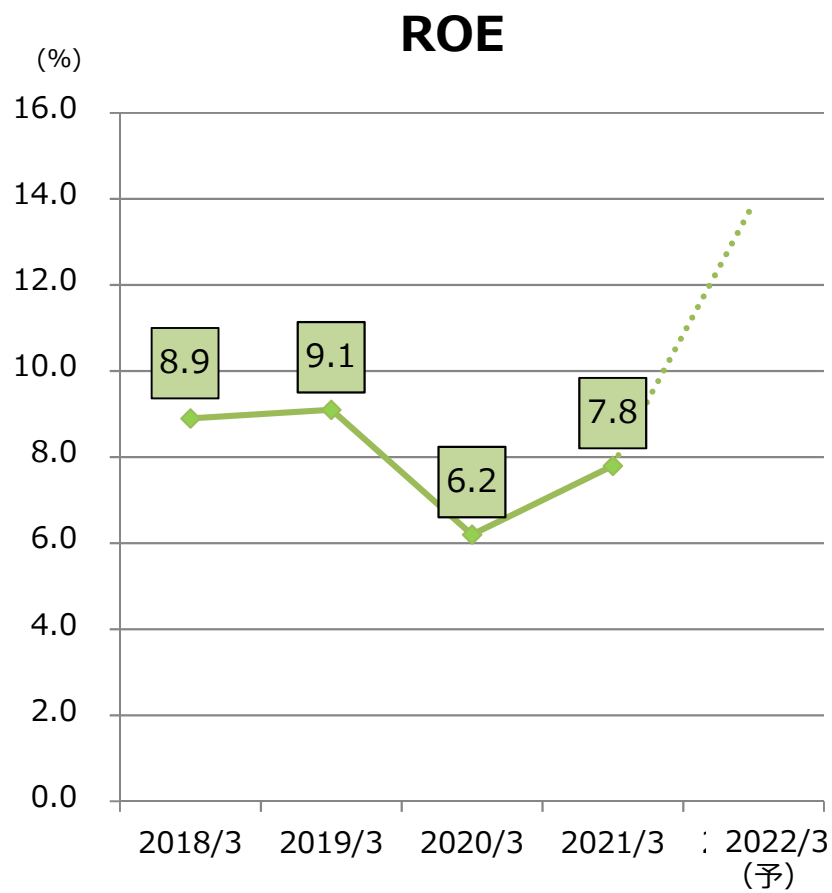
自己資本比率



※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当連結会計年度の期首から適用しており、
前連結会計期間（2018年3月期）の実績については、当会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しています。

経営指標推移





PER：株価収益率
株価/1株あたり当期純利益

PBR：株価純資産倍率
株価/1株あたり純資産

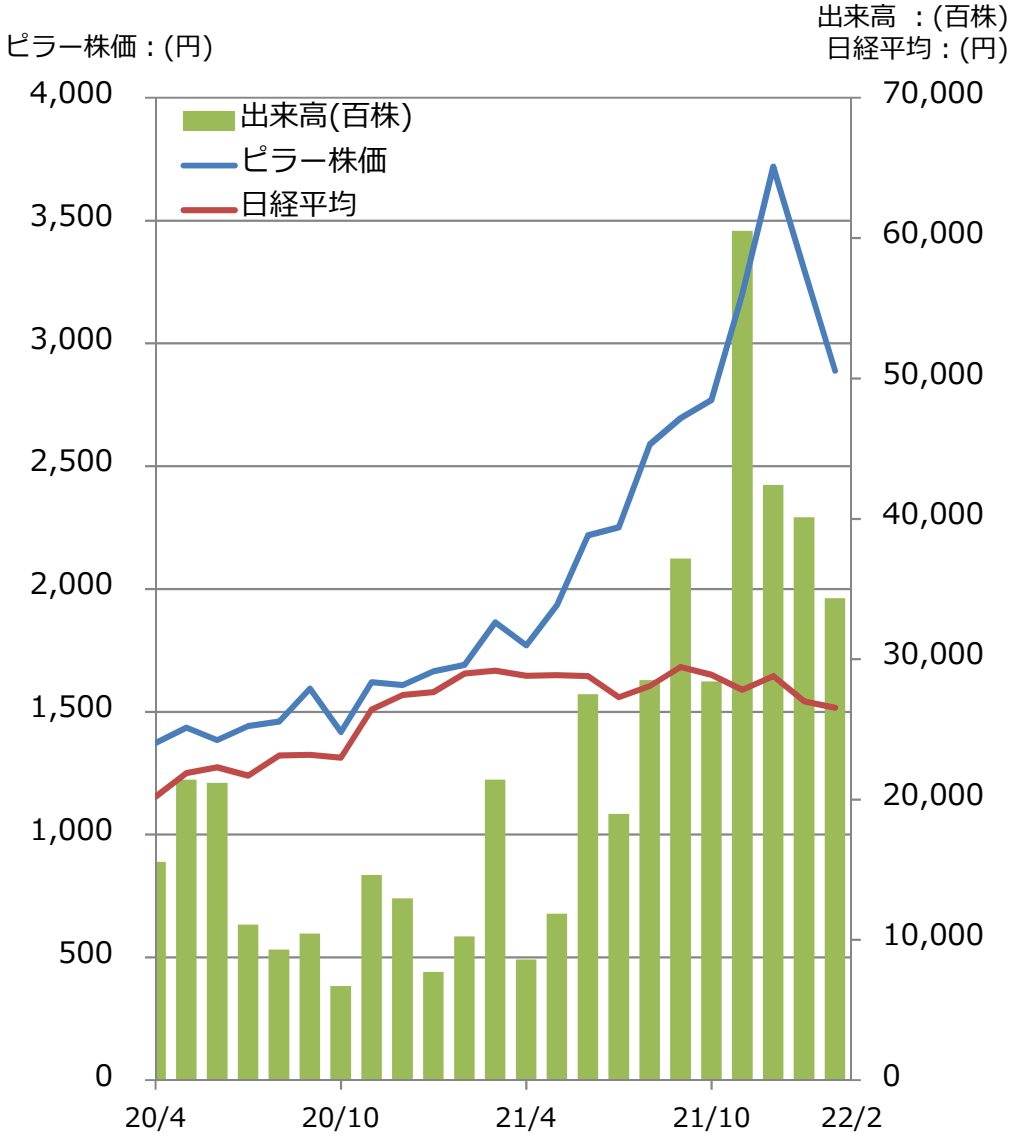
ROE：純資産利益率
当期純利益/純資産

※当期純利益は2022年3月期予想値、
純資産は3Q実績値、株価は2022年3/4終値を使用

株式情報

単元株数	100株
株価	2,765円
PBR	1.30倍
PER	9.34倍

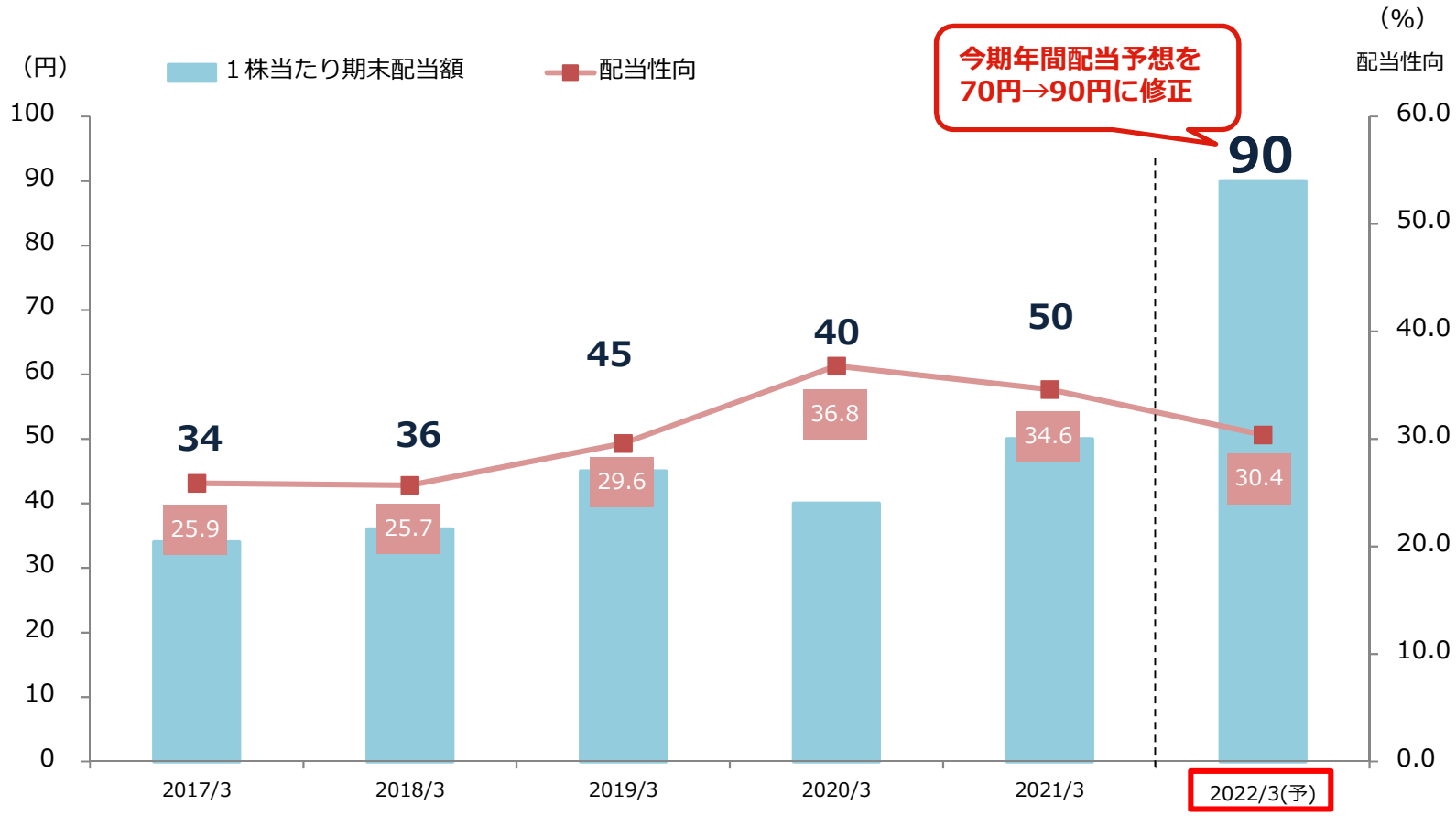
（2022年3月4日現在）



株主様への還元方針

【当社WEBサイト】
配当・株主優待

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付け、安定的かつ継続的な配当と配当水準の向上を努めることを基本方針としており、配当性向30%以上を目標に実施してまいります。

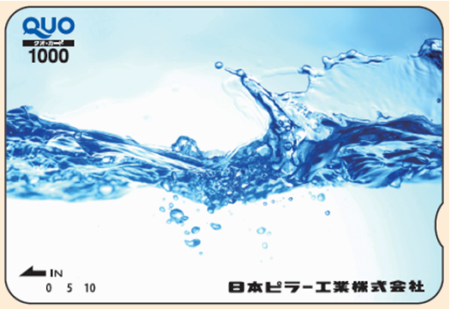


※配当性向は、2022/3予想値

株主優待

一定の株式を保有していただいている株主様に感謝するとともに、より多くの株主様に
当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。

オリジナルQUOカード進呈



各種優待情報誌にも
掲載しています。

保有株式数／継続保有期間	3年未満	3年以上
100株～500株未満	1,500円	2,000円
500株～1,000株未満	2,000円	3,000円
1,000株以上	3,000円	4,000円

（注）：保有年数3年以上とは、毎年3月末日及び9月末日現在の株主名簿に同一の株主番号が連続して7回以上記載または記録されていること

利回り　シミュレーション

■100株を３年以上保有した場合

	金額
最低投資金額（100株）※1	276,500円
年間配当金（22.3期予定）	9,000円
株主優待（年1回/3年以上保有）※2	2,000円
年間配当金＋株主優待 （トータル利回り）	11,000円 （3.98%）

※1：2022年3月4日終値ベース
※2：3月31日時点の株主名簿に記載された１単元（100株）以上保有の株主様が対象

ご清聴いただき、ありがとうございました。

当社WEBサイトのご案内

トップメッセージや中期経営計画、
最新のIR資料、株式関連情報などを
掲載しております。ぜひご覧ください。

https://www.pillar.co.jp/ja/ir/

本資料について

・本資料には、将来の業績に関する予想、計画、見通しなどの記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

・将来の業績は、主要市場の経済情報、製品需要の変動、為替相場の影響、国内外の各種規制、会計基準・慣行等の変更により、大幅に異なる可能性があることをご留意ください。

・本資料は情報の提供を目的として作成したものであり、本資料によって何らかの行動を勧誘するものではありません。

【IRに関するお問い合わせ先】

日本ピラー工業㈱　経営企画部　https://www.pillar.jp/ja/inquiry/ir/